

2020年3月4日

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（スリナム）
小学校における有機栽培施設建設計画に関する完成式

2020年3月4日、首都パラマリボに所在するセントイグナティウス小学校で、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力である有機栽培施設建設計画の完成式が行われました。被供与団体であるスリナム廃棄物管理財団は、日本政府の供与額83,990米ドルの無償資金を利用し、小学校3か所（シュリルドラ小学校、セントイグナティウス小学校、ハリカブ小学校）に有機栽培施設を建設しました。

本案件を通じて、有機農法や水耕栽培技術といった持続可能な農業の普及並びにそれに伴う環境改善を図ることが期待されています。草の根無償による同財団への支援は、平成29年度に続き2度目の支援であり、昨年度に完成した同様の3ヶ所の施設と合わせて、更なる効果が期待されます。

本式典には、在スリナム日本国大使館の田中賢治参事官が出席し、同校生徒による歌とダンスにより歓迎を受けた後、その温かい歓迎に対する謝辞を述べました。また、挨拶の中で、早い時期から持続可能な農業と健康的な食習慣、また自給自足等について学ぶことの重要性を強調しました。ジーナ・ベルグラフ同財団代表は、今後の同国の小学校における同財団の活動予定について説明し、さらに日本政府による支援に感謝の意を表しました。本式典には、在パラマリボ名誉総領事ジャヤント・パダラート氏他、同校児童、教員等関係者の出席の下、実施されました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でスリナムに対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp





温かい歓迎を受ける田中参事官の様子



田中参事官によるスピーチの様子



田中参事官とベルグラフ代表によるテープカット



ジーナ・ベルグラフ代表によるスピーチ様子



本案件で建設した有機栽培施設



式典出席者と同校小学校児童

後列左→右 クワコエ校長、パダラート日本名誉総領事、ベルグラフ代表、田中参事官、ソムワル廃棄物管理財団プロジェクトマネージャー、サンチェス有機栽培施設調整員、ベルグラフ秘書官

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp

経済・開発協力班

